

シャーシ

PCXは、250ccスクーターに迫るゆったりした乗車姿勢に、安定感の高さと取り回しのよさを兼ね備え、市街地での移動を今までになく快適なものとししました。

前後輪分担荷重の最適化

安心して運転できる車体とするために、前後分担荷重の最適化をはかりました。

PCXはリアの分担荷重を下げ、フロントの分担荷重を上げることで落ち着いたコーナリングや直進時の安定性を得ています。

リアでは、前述のエンジン軽量コンパクト化手法に加え、コンピュータ解析で追求された必要最適なケース形状などで既存の125ccクラスより約13%軽量化し、リア分担重量増を抑えました。フロントの荷重確保はホイールベースを抑えことで解決しました。ゆったりしたライディングポジションを、極力車体前寄りに、ハンドル切れ角を確保しながら足の置き位置をフロントタイヤ後方に極力寄せたレイアウトとし、フロント荷重を確保しました。この結果、PCXは1,305mmのホイールベースを実現し、運転時の安心感とともに市街地での快適な取り回しも達成しました。

ライディングポジション

125ccクラスのスクーターは、世界中の街でその姿が見られます。欧州では四輪免許の付帯として125ccまでの二輪車を許可している国もあります。日本における原付二種クラスも、その動力性能、車体サイズ、経済性のバランスから、「市街地移動には一番合理的な排気量」と、お客様からの支持が高まっております。

PCXでは、それらに加え、ワンランク上の乗車感を目指し、手足を自然に伸ばせる、ゆったりとした上体と広いフットスペースを持つシートインライディングポジションを実現しています。

ライダーとパッセンジャーのそれぞれの空間を確保するため、シートに段差を設け、ライダー側にバックレストを装着しました。

●ライディングポジション

